

⑩ 日本国特許庁(JP)

⑪ 実用新案出願公開

⑫ 公開実用新案公報(U) 平2-134385

⑬ Int. Cl.³
F 16 L 3/12

識別記号

庁内整理番号

⑭ 公開 平成2年(1990)11月7日

7031-3H F 16 L 3/12

B

審査請求・未請求 請求項の数 1 (全2頁)

⑮ 考案の名称 線状体クランプ具

⑯ 実 願 平1-42040

⑰ 出 願 平1(1989)4月12日

⑱ 考 案 者 大 竹 克 幸 神奈川県横須賀市田浦港町無番地 関東自動車工業株式会
社内

⑲ 出 願 人 関東自動車工業株式会 神奈川県横須賀市田浦港町無番地
社

⑳ 代 理 人 弁理士 福留 正治

㉑ 実用新案登録請求の範囲

線状体を抱き込むように、開閉可能に中間部で
ヒンジされてリングを形成する両側の半リング体
12, 12aと、

これらの半リング体の開放端部のそれぞれにパ
ネル穿孔9aへ表面から挿入されるように突設さ
れ、かつ前記線状体方向で互に対面して着脱自在
に係合する両側の突起13, 13aと、

これらの突起の先端部から、前記開放端部に向
けて前記線状体方向と直交方向へ弾性を呈するよ
うに延び、かつ前記パネル穿孔の縁に前記パネル
裏面から係合する段14b, 14cを先端に備えた
パネル係合爪14, 14aと、

これらのパネル係合爪のそれぞれの先端に前記
線状体方向と交差方向に突設されて、前記段に係
合したパネル9に表面側から弾性的に開閉自在に

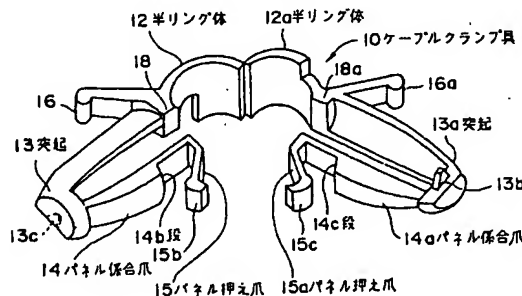
当接するパネル押え爪15, 15aと、を合成樹
脂から一体に形成したことを特徴とする線状体ク
ランプ具。

図面の簡単な説明

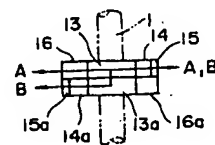
第1図は本考案の一実施例によるケーブルクラ
ンプ具の開放状態の斜視図、第2図は同実施例に
よるクランプ具の使用状態を示す正面図、第3図
a及び第3図bは第2図のA-A線及びB-B線
断面図並びに第4図は対応する従来のケーブルク
ランプ具の平面図及び第5図はこの従来のクラン
プ具の使用状態を示すケーブル方向の断面図であ
る。

9a……パネル穿孔、12, 12a……半リン
グ体、13, 13a……突起、14, 14a……
パネル係合爪、14b, 14c……段、15, 1
5a……パネル押え爪。

第1図



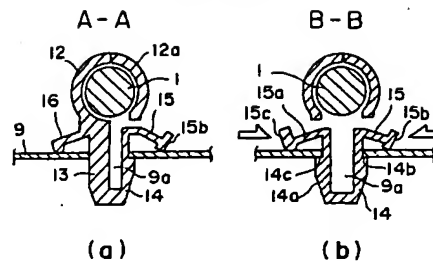
第2図



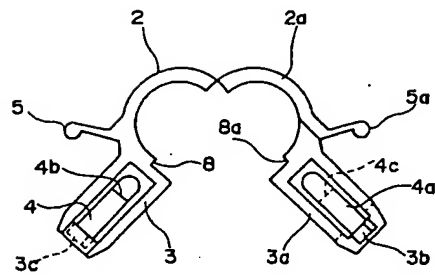
(2)

実開 平 2-134385 (2)

第 3 図



第 4 図



第 5 図

